

令和7年度 第3回 取手市部活動地域移行推進協議会

1

取手市は、子供たちのスポーツ・文化環境を整えるため、部活動の地域移行に取り組んでいます。



南相馬市・野馬追いの里マラソン大会
市内中学校代表選手が出場



関東大会出場・取手一中剣道クラブ



茨城県選抜大会出場・取手WESTクラブ

令和8年2月17日(火) FUYOUアリーナ藤代レクリエーション室

令和7年度 第3回 取手市部活動地域移行推進協議会次第

2

- 開 会
- あいさつ
- 茨城県運動部活動地域移行シンポジウム(2月9日)から
- 議 事
 - ・ 令和7年度の取手市の取組について
 - ・ 令和8年度の取手市の取組について
- 茨城県教育庁学校教育部保健体育課から
- 諸連絡
- 閉 会



関東甲信越ソロコンテスト出場、
取手二中吹奏楽クラブ・麻生遥香さん

部活動の地域展開等の全国的な実施

令和8年度予算額（案）
（前年度予算額）
令和7年度補正予算額

57億円
37億円
82億円



理念・方向性

- 多様な少子化対策の中でも、将来にわたって子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して楽しむことのできる機会を確保・充實。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- 学校部活動の意義を継承・発展させつつ、地域クラブ活動としての新たな価値を創出。
- 地域の資源に応じた持続可能な多様なスポーツ・文化芸術活動を整備。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を地域全体で関係者が連携して支え、子供たちの豊かな幅広い活動機会を保障。
- 「地域の子供たちは、学校を去ると地域で育てる。」という思いの下、地域の資源に応じたスポーツ・文化芸術活動の標準化を図り、連携協力を推進。

事業内容

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的ガイドライン」（令和7年12月28日現在）に基づき、令和8年度から「改革実行期間」における部活動の地域展開等の全国的な実施を推進。
 ※ 令和7年度補正予算額に計上

I. 部活動の地域展開等推進事業 54億円 ※令和7年度補正予算額：32億円

地方公共団体に対して、中学校の部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進や部活動指導員の配置に係る経費を補助するとともに、地域間における体験格差の防止、子供たちの安全・安心な活動や質の高い指導の担保等の観点から、地方公共団体への推進支援等を実施。

(1) 部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進

部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進のために必要な経費を、地方公共団体に対して補助。

- ① 林野の地域クラブ活動の推進等への支援
 - （指導者謝金、事務局人員費、旅費、消耗品費等）
 - ② 経済的困難世帯の生徒への支援
 - （旅費、保険料）
 - ③ 推進体制の整備等
 - （コーディネーター派遣、人材バンクの設置・運用、研修費、印刷、研修資料制作等）
- （補助対象：①は国1/3、都道府県1/3、市町村1/3（+1）、②は国1/2、都道府県-市町村1/2）

(2) 平日も含めた地域展開等の標準化のための重点課題への対応

課外活動の推進の観点から、地方公共団体に対して、課外活動の推進に関する重点課題への対応。

- ＜主な重点課題＞
 - ・小学校高学年科教師等の指導者としての活用など多様な事業実施モデル形成
 - ・国立大学等との連携による指導・運営体制の整備
 - ・学校施設の有効活用（施設管理の効率化・民間委託等による管理効率化などを含む）
 - ・平日放学后の地域クラブ活動の活動手段の確保（技能力向上の観点から、学校施設以外の活動モデルの開発）
 - ・バス・スポーツ施設確保及びインターネットによる活動環境の確保、等

(3) 中学校における部活動指導員の配置支援

各学校や拠点校に部活動指導員を配置し、指導や大会引率等を担う。
【17,320人（運動部：13,620人、文化部：3,700人）】（補助対象：国1/3、都道府県1/3、市町村1/3（+1））

(4) 地方公共団体への伴走支援と安全安心・質の高い指導の仕組み

- 相談・サポート窓口設置、アドバイザー派遣、取組状況調査、課題への対応策策定、好事例の集約等
- 指導・リスクマネジメントの手引きの作成、動画等・ツールサイトの運営（JSC運営員交付会）

II. 地域における新たなスポーツ環境の整備等 3億円 ※令和7年度補正予算額：0.5億円

- 部活動の地域展開に当たり必要な公立中学校の施設の整備・設備を支援（用具保管の倉庫、スマートロック設置に伴う扉の改修等）※（一部）
- 標準化推進のための講習会や専門家等との連携に向けた研究活動の実施
- 大学生が卒業後も継続的に地域の中学生の指導に当たる仕組み構築等



- #### 関係法令
- スポーツ基本法（令和7年改正案）（案）
第十七条の二 地方公共団体は、（中） 中学校の生徒が地域においてスポーツに親しむ機会を確保するために必要な施策を講ずるに努めなければならない。
 - 国土、地方公共団体に対し、前項の取組の円滑な実施のために必要な施設、指導、経費の補助その他の補助を行うよう努めなければならないとする。
 - 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（令和7年改正）（案）
附則第三条 国土は、（中） 次に掲げる措置を講ずるものとする。
六 部活動の地域における関係者も円滑に協働するための財政的な援助を行うこと。

【「新しい経済」を実現する総合経済対策（令和7年11月21日閣議決定）抜粋】
取組の円滑化を図るための関係者も円滑に協働するための財政的な援助を行うこと。

※ 1 都道府県又は指定都市が実施全体の場合は、国1/3、都道府県-指定都市1/3
※ 2 市町村に交付されるものは、国1/3、都道府県1/3、市町村1/3（+1）
※ 3 国に交付されるものは、国1/2、都道府県-市町村1/2

（出典）スポーツ地域コーディネーター、文化庁事務局（国連文化財）

スポーツ庁「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進に向けて」より①


**「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」
最終とりまとめ（令和7年5月16日）について**

改革の理念等	<ul style="list-style-type: none"> ●急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実 ●地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出 ●改革の理念等をより的確に表すため、「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更。
次期改革期間	<p>令和5年度～7年度 「改革推進期間」</p> <p style="text-align: center;">➔</p> <p>令和8年度～10年度 「改革実行期間」(前期)</p> <p>令和11年度～13年度 「改革実行期間」(後期)</p>
休日	改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す
平日	各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）
費用負担の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等を検討 ●公的負担については国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要。国において受益者負担の目安等を示す ●経済的困難世帯の生徒への支援は確実に措置。部活動指導員の配置についても一定の範囲で支援
各論	運営団体等の体制整備や指導者確保をはじめとする8項目の個別課題について、具体的な対応策を提示

【最終とりまとめに関するHP掲載資料】

- ① 最終とりまとめ（概要）
- ② 最終とりまとめ（本文）
- ③ 別添資料（部活動の地域展開に当たっての取組目事列集（個別課題への対応等））

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/039_index/attach/1420653_00001.htm

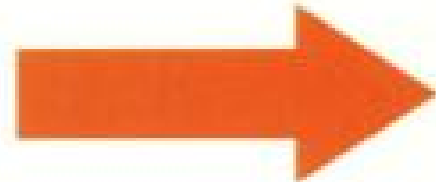


「地域展開」への名称変更

学校部活動から地域クラブ活動への転換を表す名称

現行

地域移行



見直し

地域展開

変更の趣旨

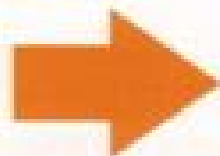
- ①従来、学校内の人的・物的資源（学校の施設を含む）によって運営されてきた活動を広く
地域に開き、地域全体で支えていく
- ②地域に存在する人的・物的資源を活用しながら、地域全体で支えることで可能となる**新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動**を目指していく

スポーツ庁「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進に向けて」より③

改革の方向性

次期改革期間

令和5年度～令和7年度
改革推進期間



中間評価

令和8年度～令和10年度
改革実行期間
(前期)

令和11年度～令和13年度
改革実行期間
(後期)

休日

次期改革期間内に、原則、全ての部活動において地域展開を実現

※ 地域の実情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい

※ 中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としてもきめ細かなサポートを通して地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。

平日

各種課題を解決しつつ **更なる改革を推進**

国：活動の在り方や課題への対応策の検証を行う

地方公共団体：地域の実情等に応じた取組を進める

スポーツ庁「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進に向けて」より④

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ（5/16）ポイント②

各論（個別課題への対応等）

1. 地域クラブ活動を行う運営団体・実施主体の体制整備等

- 地域全体での連携体制の整備（地方公共団体と関係団体等との連携・協働、コーディネーターの配置、学校との連携等）
- 運営に関するサポート体制の整備、運営を担う人材の確保・育成
- 組織体制・財政基盤の整備
- ICT活用による運営業務の効率化 等

2. 指導者等の質の確保・量の確保

- 多様な人材の発掘・マッチング・配置（人材バンクの設置・運用、大学生の活用促進、希望する教職員の異職兼業等）
- 適切な資質・能力の保障、人材育成（研修会開催、公認指導者資格の取得促進、指導の手引き作成、適切な処遇の確保等）
- 平日（部活動）と休日（地域クラブ活動）の一貫指導 等

3. 活動場所の確保

- 学校施設等の有効活用（地方公共団体等による協力等）
- 認定を受けた地域クラブ活動の優先利用・使用料減免等
- 活動場所の管理運営の効率化等（ICT活用、費の受渡しの負担軽減、指定管理者制度等の活用、学校施設の複合化等）

4. 活動場所への移動手段の確保

- 既存車両の有効活用（スクールバスやスポーツ団体のマイクロバス等）
- 地域公共交通との連携等（運行ダイヤの見直し検討、利用料への補助、AIオンデマンド交通や公共ライドシェアの活用等）
- 多様な政策分野との連携・協働等（介護・福祉・医療等）

5. 大会やコンクール運営の在り方

- 生徒の大会等の参加機会の確保（地域クラブ活動の認定制度の導入に合わせた大会参加規程の見直し、行政・関係団体等による協議の場の設定等）
- 大会に参加する生徒への支援等（交通費・宿泊費の支援等）
- 大会の運営及び引率等の体制整備（地域クラブ活動関係者や保護者等の参画促進、大会運営の外部委託等） 等

6. 生徒・保護者等の関係者の理解促進

- 国における取組（ポスター・チラシ・動画等、ポータルサイトやSNS等を通じた広報、説明会・シンポジウム等の開催）
- 地方公共団体等における取組（学校と連携した生徒等へのきめ細かな情報提供等、体験会等の開催、生徒等の希望を把握するためのアンケート調査やワークショップの実施等）

7. 生徒の安全確保のための体制整備

- 事故や暴力・暴言等の不適切行為の防止（指導者等への研修、組織的な体制整備、相談窓口の活用促進等）
- 事故や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化
- 生徒及び指導者の保険への加入（傷害保険＋賠償責任保険）

8. 障害のある生徒の活動機会の確保

- 多様な地域の関係者の参画（障害者スポーツセンター、地域のバラスポーツ協会、放課後デイサービス実施事業者等）
- 新たなスポーツ・文化芸術活動の機会の提供
- 障害者対応指導ツール等を活用した指導者の資質・能力の向上 等

なぜ部活動改革(地域移行)が必要なのでしょう？

9

- 全国的な少子化の影響で、中学校部活動の部員数が減少しています。
取手市の中学校でも、部員が少なくてふだんの練習や試合が思うようにできない、部活動の数そのものが減ってきているなどの問題が起きています。
他にも、教職員の時間外勤務の増加や部活動顧問が未経験などの課題もあります。



これまでと同じやり方では、部活動を維持していくのは難しいです。



そこで中学生(子どもたち)のために、地域が協力して、**スポーツや文化活動ができる新しい仕組み**を作っていく必要があります。



それが**部活動改革(部活動地域移行)**です。

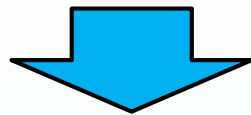


取手市の取組は、

○市が主体となって、令和8年度からは、休日の活動(土曜日、日曜日、祝日の活動)を、中学校の部活動から**地域クラブ活動**に移行します。

地域クラブ活動とは、中学校単位ではなく、地域(取手市)が主体となって行われる活動です。

○令和7年度の取手市立中学校の部活動の状況は、6つの中学校で、79の部活動(運動部65、文化部14)があり、部員数は1,673名(運動部1,193名、文化部480名)です。



これらの子どもたちの活動を維持していくために、**単独方式**(人数が足りている場合)や**拠点校方式**(人数が足りていない場合)で地域クラブ活動を作っていく予定です。



令和7年度の取手市の取組について

☆令和7年度 モデル事業の地域クラブ活動の様子①

種 目	チーム名	拠点校・該当校（○印が拠点校）	クラブ員数	指導員数	活動回数	主な実績
軟式野球（男・女）	取手ブレイブベースボールクラブ（東部）	○藤代南中、取手一中、藤代中の生徒が参加	29	3(小1)	51	市郡総体2位、市郡新人大会2位
	取手WESTベースボールクラブ（西部）	○永山中、取手二中、戸頭中の生徒が参加	30	2	47	市郡総体1位、県南総体ベスト8、 県選抜大会出場 、市郡新人大会1位、県南新人大会出場
バスケットボール（男子）	藤代南・藤代バスケットボールクラブ	○藤代南中、藤代中の生徒が参加	26	1	35	市郡総体1位、県南総体出場、市郡新人大会1位、県南新人大会2位、 県新人大会出場 、 県南新人選手権大会1位
バスケットボール（女子）	藤代・藤代南バスケットボールクラブ	○藤代中、藤代南中の生徒が参加	19	1	38	市郡総体3位、市郡新人大会3位
バレーボール（女子）	藤代南バレーボールクラブ	○藤代南中、藤代中の生徒が参加	17	1	44	市郡総体2位、県南総体出場、市郡新人大会1位、県南新人大会ベスト8
柔道（男・女）	柔道クラブTORIDE	藤代中、取手一中、取手二中の生徒が参加、取手市内の中学生は参加可	24	2	49	県南総体男子団体3位、男子個人2,3,6位、女子個人1位、 県総体男子個人2,3位 、 関東大会男子個人出場 、県南新人男子団体3位、男子個人2,3位、 県新人大会男子団体5位 、 男子個人2位

☆令和7年度 モデル事業の地域クラブ活動の様子②

種 目	チーム名	拠点校・該当校（○印が拠点校）	クラブ員数	指導員数	活動回数	主な実績
剣道（男・女）	藤代剣道クラブ	○藤代南中、藤代中の生徒が参加	17	2	36	市郡総体男子団体5位、女子団体6位、 県南総体出場、市郡新人大会男子団体3位、女子団体4位、 県南新人大会出場
	取手一中剣道クラブ	取手一中の生徒が参加	27	1	62	市郡総体男女団体1位、 県南総体女子団体2位、 県総体女子団体3位、 関東大会女子団体出場、 市郡新人大会男女団体1位、 県南新人大会男子団体1位、女子団体2位、 県新人大会男子団体ベスト8、女子団体出場
剣道（男・女）	取手二中剣道クラブ	○取手二中、永山中の生徒が参加	16	1	56	市郡総体男子団体2位、 県南総体男子団体5位、 県総体男子団体出場、 市郡新人大会男子団体2位、 県南新人男子団体3位、 県新人大会男子団体出場

☆令和7年度モデル事業の地域クラブ活動の様子③

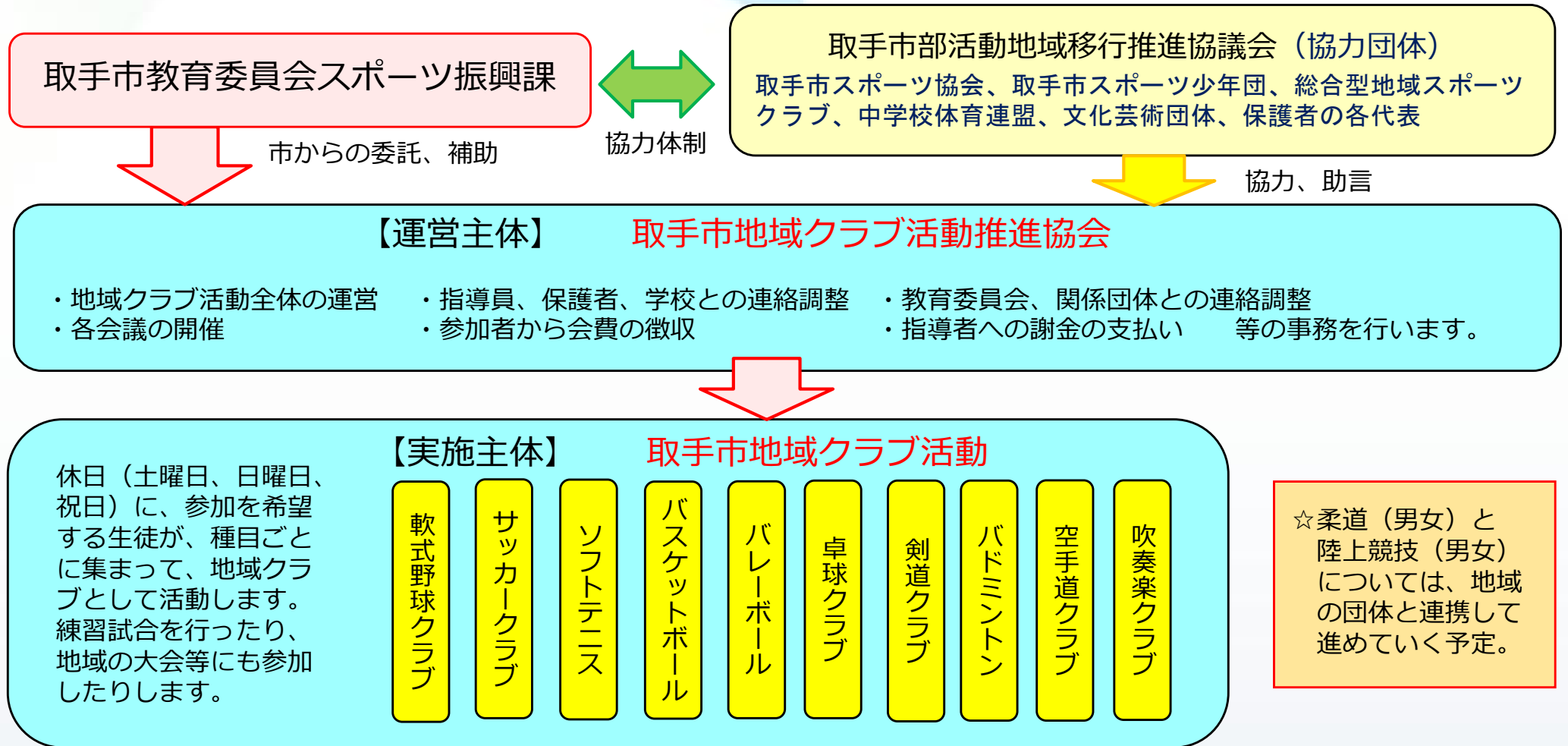
種目	チーム名	拠点校・該当校（○印が拠点校）	クラブ員数	指導員数	活動回数	主な実績
空手道（男・女）	取手二中空手道クラブ	○取手二中の生徒が参加、取手市内の中学生は参加可	20	1	49	全国大会(夏)県予選女子団体2位、女子個人3,4,5位、関東大会女子団体3位、全国大会女子団体出場、全国選抜大会(春)県予選一年女子団体1位、二年女子団体2,4位、二年男子団体3位、全国選抜大会出場(3月)
吹奏楽	取手二中吹奏楽くらぶ	○取手二中	31	1	60	県南吹奏楽コンクール優秀賞、県吹奏楽コンクール銀賞、ソロコンテストいばらき金賞、関東甲信越ソロコンテスト出場
	藤代南吹奏楽クラブ	○藤代南中	24	1(地)'	45	県南コンクール優良賞、県南アンサンブルコンテスト優良賞
8種目	12クラブ	19部活動	280人、(1クラブ平均23.3人)	17人、(地域からの指導員1名)	1クラブあたりの月平均の活動回数は、月4.3回	

※活動回数は令和7年4月から令和8年1月まで。主な実績の赤字は県大会以上の実績。

☆令和7年度の取組及び今後の予定

- 4月 4日（金）、部活動地域移行指導者研修会を開催。
- 4月から、12つのクラブがモデル事業として活動を開始。
- 7月15日（火）令和7年度第1回取手市部活動地域移行推進協議会を開催。
- 広報とりで8月号に、部活動地域移行の記事を掲載。
- 9月17日～30日、全中学校の生徒、保護者、教職員、小学校5・6年生の保護者にアンケート調査を実施。
- 10月 7日（火）第2回取手市部活動地域移行推進協議会を開催。
- 11月、全中学校を訪問し、校長先生、教頭先生からヒアリングを実施。
- 11月 6日（木）、部活動地域移行保護者説明会実施。（取手市福祉交流センター）→107名参加
- 11月14日（金）、部活動地域移行保護者説明会実施。（藤代庁舎）→57名参加
- 12月、全中学校の部活動顧問に地域クラブ活動指導員の希望調査を実施。
- 12～1月、地域クラブ活動(実施種目、拠点校)・指導員の決定。
- 2月、新入生説明会において、小学6年生と保護者に対して、説明会を実施。
- 2月17日（火）第3回取手市部活動地域移行推進協議会を開催。
- 3月、各中学校を訪問し、現1・2年生運動部及び吹奏楽部員、教職員、保護者に対し説明会を実施予定。
- 3月、地域クラブ活動指導員への説明会及び研修会を実施予定。
- 3月、地域クラブ活動に参加予定の生徒及び保護者への説明会を実施予定(各クラブごとに実施)。
- 4月、各中学校の2・3年生の運動部員、吹奏楽部員に対し、地域クラブへの入会申込書を配布。集約。
各中学校の新1年生の運動部員、吹奏楽部員に対し、地域クラブへの入会申込書を配布。集約。

☆取手市は「取手市地域クラブ活動推進協会」を通して、中学生の休日(土曜日・日曜日・祝日)の活動場所となる地域クラブ活動を運営していきます。



☆取手市は「取手市地域クラブ活動推進協会」を通して、中学生の休日(土曜日・日曜日・祝日)の活動場所となる地域クラブ活動を運営していきます。

☆取手市から委託を受けた「取手市地域クラブ活動推進協会」の中に、中学生の地域クラブ活動を作ります。

○平日は各中学校で部活動として活動しますが、休日（土曜日、日曜日、祝日）には、参加を希望する生徒が、種目ごとに、単独方式(人数がたりている場合)や拠点校方式(人数が足りていない場合)で、地域クラブ活動として活動をします。平日とは違う種目に参加することも可能です。

○クラブ員は、
・正会員（中学生、指導員、保護者※任意）
・準会員（参加を希望する小学生や高校生）
・賛助会員（指導、見守り、移動見守り等の各ボランティア） の3つになります。

○活動場所は、市内の中学校が中心になります。

○参加費（年会費2,000円、月会費3,000円）やスポーツ安全保険等への加入が必要になります。

○チームとして、大会にも参加することもできます。

○指導者は、学校の先生も含めて、取手市が任命した地域クラブ活動の指導員になります。

◎「楽しく・うまく」を目標に、生徒と指導員で、月の活動計画や活動内容を決めていきます。

・取手市スポーツ協会、取手市スポーツ少年団、文化芸術関係団体等の地域団体とも連携していきます。

【種目】 軟式野球、サッカー、ソフトテニス（男女）、バスケットボール（男女）、バレーボール（女子）
卓球（男女）、剣道（男女）、バドミントン（男女）、空手道（男女）、吹奏楽

☆その他に、**中学校の部活動にないもの等**については、**既存の地域の団体等と連携して**、中学生のために、多様な活動場所を作っていく予定です。

◎地域の団体等と連携した中学生の活動場所づくり

- 中学校の部活動にないもの等**については、取手市スポーツ協会やスポーツ少年団に所属している団体、総合型地域スポーツクラブ、地域の文化芸術系の団体など、既存の地域団体等と連携して、中学生のために、多様な活動場所を作っていく予定です。
 - ・活動日や活動場所は、各団体の活動日、活動場所になります。
 - ・参加費やスポーツ安全保険への加入については、団体によって異なります。
 - ・指導者は、各団体の指導者の方々になります。
- 柔道→スポーツ少年団の取手柔道クラブ(週3回活動、月会費1,000円)、藤代道場(週2回活動、月会費2,000円)が、受け入れてくれる。
- 陸上競技→地域の陸上競技クラブと連携して進めていく予定。聖徳高校を会場にして実施に向けて調整中。
 - ・美術については、ワークショップ方式での実施調整中です。

受益者負担と公費のバランスについて

令和8年度中学校部活動地域移行事業に関する経費の内訳
 《指導者謝礼時給1,600円プラス交通費、20クラブ15人（会員300人）、指導者40人で積算》

総事業費 28,600,000円 推定	受益者負担で 賄いたい 約20,400,000 円 (市補助900万 円)	会費（地域クラブ活動費） ・指導者謝礼（交通費込み） ・保険料（本人・指導者スポーツ保険 料） ・手数料（指導者謝礼振込手数料、ア プリアイテム手数料等）	受益者負担 年会費2,000円 月会費5,500円 年間1人／68,000円	受益者負担 年会費2,000円 月会費3,000円 年間1人／38,000円	受益者負担収入見込 み 11,400,000円	受益者負担
	市費で賄う 約8,200,000円	市費（地域クラブ運営費） ・報酬（事務局職員2名） ・費用弁償（事務局職員2名） ・消耗品費（地域クラブ消耗品） ・消耗品費（事務局消耗品） ・通貨運搬費（各種通知郵送料） ・備品購入費（カメラ） ・負担金（大会参加費、要準要保護世 帯助成）	市費+国費+県費 (推定) 8,200,000円推定	市費+国費+県費 (推定) 8,200,000円推定	市から補助 市補助 約9,000,000円	市費+国費+県費 (推定) 8,200,000円推定
					合計17,200,000円推 定	

※令和8年度地域クラブ会費 年会費2,000円、月会費3,000円を予定

☆取手市の部活動地域移行について

国の方針によって、令和5年度より部活動改革が実施されることになりました。なぜ部活動改革が必要なのでしょうか。全国的な子どもの数減で、取手市の中学校でも部活動の参加者が減っています。そのため、とだんの活動や試合が思うようにできないなどの問題が起きています。同時に、教員の仕事や部活動の増加など、働き方改革上の課題もあります。これまでも同じやり方では、部活動を維持していくのが難しくなってきました。そこで、中・高生「子どもたち」のために、スポーツや文化活動ができる新しい仕組みを作っていく必要（部活動を改革していく必要）が起きました。それが、**部活動改革＝部活動地域移行**になります。

取手市では、西が主体となって、令和5年度から、休日の活動（土曜日、日曜日、祝日の活動）を、中学校の部活動から地域クラブ活動に移行します。**地域クラブ活動は、中学校ではなく、地場（取手市）が主体となって行われる活動です。中学校「子どもたち」の活動場所を維持していくために、開催方式（人数が足りている場合）や開催方式（人数が足りない場合）が地域クラブ活動を作っていく予定です。**

- 目的は、地域クラブ活動を通して、
 - 心身ともにバランスのとれた健全な中学生を育成します。
 - 中学校や高校とも連携して、卒業を思う子どもたちの成長を支援します。
 - 取手市の推進スポーツ、文化活動の発展につなげます。

- 活動のキーワードは、「楽しく」「うまく」です。
 - 「楽しく」→ 参加者全員が楽しく、のびのびと活動できるようにしていきます。
 - 「うまく」→ 運動会や大会などでも続けられるように、個人の技能の向上を目指し、西を中心にっていきます。



（現代通信バスケットボールクラブの皆さん）

- 活動日や活動時間について
 - 土曜日、休日（土曜日、日曜日、祝日のうち原則週に1回）になります。活動場所は、取手市内の中学校等になります。
 - 活動時間は、通常一日あたり4時間（その他の活動や準備等の時間を含めて）です。大会や練習試合などの場合は、一日あたり5時間程度まで原則とします。
 - 一日の活動時間を超えて活動した場合には、他の日に休日を振り替えます。

○部活動ではないので、参加費が発生します。参加生徒一人につき、年会費を2,000円、月会費を3,000円をいただく予定です。

☆取手市の地域クラブ活動の予定

種別	内容
軟式野球（男・女）	取手市ジュニアベースボールクラブ（取手一中・麗光中・麗光南中）、取手Wとらすベースボールクラブ（取手二中・赤山中・戸田中）の2つで活動します。
サッカー（男・女）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
ソフトテニス（男子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
ソフトテニス（女子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
バドミントン（男子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
バドミントン（女子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
バレーボール（男子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
バレーボール（女子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
剣道（男・女）	地域のスポーツ少年団と連携して準備中です。取手市内の中学生は、だれでも入ることができます。取手一中剣道クラブ、取手二中剣道クラブ、麗光剣道クラブの3つで活動します。
バドミントン（男・女）	準備中です。取手市内の中学生はだれでも入ることができます。
空手道（男・女）	取手二中空手道クラブで活動します。市内の中学生はだれでも入ることができます。
軟式野球	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。

☆その他に、陸上競技も実施に向けて準備中です。

☆保護者説明会での主な質問事項

11月8日、14日に保護者説明会を開催いたしましたところ、2日間で160名を超える保護者の皆様に参加していただきました。ありがとうございました。たくさんのご質問をいただきましたが、その中からいくつかご紹介させていただきます。

- Q： 去年から中学生になるのですが、令和5年からとありますが、早稲の活動が部活動で休日の活動（地域クラブ活動）で、4月からは地域クラブ活動には参加費なども発生するというのがこれからの流れなのでしょうが、
- A： その通りです。ただし、中学校の新1年生の場合には、活動が実際に始まるのは9月くらいになるかなと思います。
- Q： 平日の部活動と休日の地域クラブ活動は、別と考えた方がよいということでしょうか。やることは一緒でもそれぞれに意識するということでしょうか。
- A： そうなります。部活動とは違う地域クラブに入ることも可能ですので。
- Q： 夏休みも含めて、平日の部活動はどうなりますか。
- A： 平日は、今までと同じく中学校での部活動になります。長期休業中も、平日は学校の部活動、休日は地域クラブ活動ということになります。
- Q： モデル事業に参加しているのですが、メインの活動は土日なのか、平日なのかかわからないときがあります。例えば早稲側としては地域移行だからともに確認してと言われて、地域移行の方に確認したら、平日は早稲側に確認してと言われて、確認になってくるような感じのときに、どういうふうに考えたらよいのでしょうか。
- A： 基本的には平日は部活動なので中学校の対応、休日は地域クラブ活動なのでスポーツ振興課の対応になりますが、何か問題が起ったら、両者が連携して対応していきます。地域クラブ活動は、中がやっていることなので、最終責任は中になります。いろいろなケースが予想されるので、何かあれば遠慮なく言ってください。子どもや保護者の声が反映されるようなことがないようにしていきます。
- Q： 休日に活動する時は、指導者は必ず付きますか。
- A： 中学生の活動なので、必ず指導者（成人）が付きます。
- Q： 例えば、賛助会員に見守りボランティアという方がいらっしゃるが、指導者と区別だと話していますが、そういった方たちに見守ってもらいながら、子どもたちが自主的に練習するなど活動できればそれでもいいのかと思います。指導者がなかなか見つからないということですが、そのあたりはどのように考えているのでしょうか。
- A： 貴重なご意見ありがとうございます。そんなふうに、複数の大人に見守られながら、子どもたちが自主的に活動するという試み、とてもいいことだと思います。ある程度理解の節ともいえると思います。
- Q： 学校を使う場合に、学校関係者ではない方がそういう役割を担うことは問題ないということでしょうか。
- A： 学校施設の管理にも、事務局が関わるので、問題はありません。



（取手二中軟式剣道クラブの皆さん）

このほかにも、たくさん貴重なご意見をありがとうございました。部活動の地域移行に関するご質問等は、遠慮なくスポーツ振興課までご連絡ください。

【問合せ先】
取手市教育委員会スポーツ振興課
取手市7-1-22 7200
大塚口一층樓口、9：30～17：00



（取手Wとらすベースボールクラブの皆さん）

★令和8年度 取手市の地域クラブ活動の予定

【取手第二中学校の場合】

種 目	内 容
軟式野球（男・女）	取手WBCベースボールクラブ(取手二中・水山中・戸田中の生徒が参加)で活動しています。
サッカー（男・女）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
ソフトテニス（男子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
ソフトテニス（女子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
バスケットボール（男子）	地域クラブ活動の実施に向けて準備中です。
バスケットボール（女子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
バレーボール（女子）	地域クラブ活動の実施に向けて準備中です。
卓球（男・女）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
剣道（男・女）	取手二中剣道クラブ(取手二中・水山中・戸田中の生徒が参加)で活動しています。
空手道（男・女）	取手二中空手道クラブで活動しています。取手市内の中学生ならば、だれでも入ることができます。
交響楽	取手二中交響楽クラブ(取手二中の生徒が参加)で活動しています。

★取手第二中学校の部活動にないもの

柔道（男・女）	地域の柔道スポーツ少年団と連携して準備中です。取手市内の中学生ならば、だれでも入ることができます。
バドミントン（男・女）	市全体で一つのバドミントンクラブを作り、地域クラブとして活動準備中です。取手市内の中学生ならば、だれでも入ることができます。

★この他に、陸上競技も実施に向けて準備中です。

※教職員の方が指導員になる予定のところは、人事異動等により、内容が変更になることがあります。

※その他詳細につきましては、下記スポーツ課電話までご連絡ください。

【問合せ先】

取手市教育委員会スポーツ課
 TEL 297（82）7200
 大塚町一丁目、9 / 30-17 / 00



★令和8年度 取手市の地域クラブ活動の予定

【藤代南中学校の場合】

種 目	内 容
軟式野球（男・女）	取手ブレイブベースボールクラブ(取手一中・藤代中・藤代南中の生徒が参加)で活動しています。
サッカー（男・女）	地域クラブ活動の実施に向けて準備中です。
ソフトテニス（男子）	地域クラブ活動の実施に向けて準備中です。
ソフトテニス（女子）	地域クラブ活動の実施に向けて準備中です。
バスケットボール（男子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
バスケットボール（女子）	藤代藤代南バスケットボールクラブ(藤代中・藤代南中の生徒が参加)で活動しています。
バレーボール（女子）	藤代南バレーボールクラブ(藤代南中・藤代中の生徒が参加)で活動しています。
卓球（男子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
卓球（女子）	地域クラブ活動の実施に向けて調整中です。
剣道（男・女）	藤代剣道クラブ(藤代南中・藤代中の生徒が参加)で活動しています。
バドミントン（男・女）	市全体で一つのバドミントンクラブを作り、地域クラブとして活動準備中です。取手市内の中学生ならば、だれでも入ることができます。
交響楽	藤代南交響楽クラブ(藤代南中の生徒が参加)で活動しています。

★藤代南中学校の部活動にないもの

柔道（男・女）	地域の柔道スポーツ少年団と連携して準備中です。取手市内の中学生ならば、だれでも入ることができます。
空手道（男・女）	取手二中空手道クラブで活動しています。取手市内の中学生ならば、だれでも入ることができます。

★この他に、陸上競技も実施に向けて準備中です。

※教職員の方が指導員になる予定のところは、人事異動等により、内容が変更になることがあります。

※その他詳細につきましては、下記スポーツ課電話までご連絡ください。

【問合せ先】

取手市教育委員会スポーツ課
 TEL 297（82）7200
 大塚町一丁目、9 / 30-17 / 00

